

回 覧

令和元年(平成31年)度 学術部発 16 号

(一社)岐阜県臨床検査技師会
会 長 浅野 敦 <公印略>
学術部 森 さゆり
臨床微生物部門長 後藤 雪乃

令和元年度 岐臨技研修会のご案内

<臨床微生物部門研修会>

日 時 : 2019年 8月 24日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 : [岐阜市民病院](#) 西診療棟5階 中会議室

内 容 : 認定試験の壁を乗り越えよう!!

~学会発表の仕方と論文の書き方について~

14:00~14:45 学会発表はチャンスかも!?楽しんでみよう!

講師 岐阜大学医学部附属病院 検査部 太田 浩敏先生

14:45~15:00 休憩

15:00~16:00 いま知りたい 論文の書き方

~論文の構成と論文で使う表現を中心に~

講師 東京医科大学微生物学講座 教授 大楠 清文先生

16:00~16:30 質疑応答・意見交換

※微生物検査以外の担当の方でも参考になる内容が満載です!
ぜひ微生物検査以外の方もお越しください。

参加申し込み : 当日参加も可能ですが、会場準備の関係上、事前申し込みにご協力ください。下記アドレスよりお申し込みください。

tyuken@gmhosp.gifu.gifu.jp

申し込み期限 : 8月16日(金)

申し込み窓口 : 岐阜市民病院中央検査部 法雲智美

駐車場 : 病院駐車場をご利用下さい。駐車券をお持ちください。

参加費 : 参加者は、技師会員は(岐臨技会員、県外会員いずれも)300円、非会員は2,000円を徴収し領収書を発行します。

この研修会は日臨技生涯教育制度に事前登録したもので、研修会参加者には専門教科(20点)として認定されます。研修会参加者は会員カードをご持参下さい。

問い合わせ先 岐阜県総合医療センター臨床検査科 後藤雪乃(214794)
TEL 058-246-1111(内線5112)

* * 外部講師における講演依頼の目的 * *

今回は、認定臨床微生物検査技師試験を受ける前に立ちほだかる大きな壁、「学会発表」と「論文発表(作成)」に目を向けて研修会を計画いたしました。

認定取得はもちろん目指しているけれど・・・「何を題材に学会で発表したら良いのか分からない」、「論文作成なんてどこから手を付けて良いか分からない」、こういった声も少なからず聞こえてきます。「学会発表」と「論文発表(作成)」は、どうしても日常業務とは少し離れたところに位置するように考えがちで、苦手意識を持ちがちです。

今回は、東京医科大学微生物学講座より大楠清文先生をお招きし、「いま知りたい論文の書き方～論文の構成と論文で使う表現を中心に～」と題してご講義いただきます。大楠先生は、教育者として学生の指導のみならず、参考書の編さんや著書等も多く執筆されてみえ、また、日本臨床微生物学会や日本感染症学会等の学会において理事や委員を数多く務めていらっしゃいます。日本臨床微生物学会では国際委員会の委員長も務めておられ、世界を舞台に幅広くご活躍されてみえます。以前に岐阜でご活躍の頃、岐阜県内に認定臨床微生物検査技師を増やすため、先生が中心となり多くの研修会を開いて下さったことは、今の微生物部門の活動にも多大なる影響を与えています。今回のご講義は、「県内にもっと認定技師を増やしたい！」という我々の熱意にお答え下さった形での研修会の実現となりました。同定困難な菌の同定について非常にご高名な先生ですが、今回は「論文の書き方」でご指導いただこうと思います。

また、部門講師として岐阜大学付属病院の太田浩敏先生に、「学会発表はチャンスかも！？楽しんでみよう！」と題してご講義いただきます。「発表のネタがない」「難しい質問されたらどうしよう」など、誰もが思いがちな問題をどう解消すれば良いか教えていただきます。

本研修会は、微生物検査を担当していない技師の先生方にも非常にためになる内容が満載となっております。学会発表、論文発表など挑戦してみようという先生方はぜひご参加ください。本研修会参加後には、学会発表や論文発表に対して苦手意識がきっと薄らいでいるに違いありません。